

京都府教育長表彰・ジュニアマイスター顕彰 多くの生徒が受賞

3月に卒業した生徒たちは、日頃の学習・資格取得が認められて下記の表彰を受けました。京都府教育委員会教育長表彰では、24名の生徒が受賞し、最後まで諦めずに取り組んだ結果が実を結びました。新年度になって後輩たちにも良い刺激となり、資格・検定に各学年ともより一層意欲的に取り組む雰囲気になっています。今年度も色々な資格・検定に挑戦してもらいたいです。

(公財)産業教育振興中央会会長表彰
 京都府産業教育振興会会長表彰
 西日本工高建築連盟 優秀生徒表彰

小西 芙佳
 小林 幸雅
 足田 真紀

京都府教育委員会教育長表彰

浅田 幸紀	芦田 逸瑠
小倉 拓也	小谷 和仁
小西 芙佳	小林 幸雅
柴田 空羽	滝口 麻央
細井 省吾	牧井 美湖
三宅 ちな	三宅 陸斗

足田 真紀	大江 純平
河田 祥歩	小西 信貴
塩川 真緒	柴田 一景
坪倉 夢輝	中井佐玖真
松田 祥吾	松本 樹楽
吉田 有花	渡邊 心翔

全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰

ゴールド・特別表彰受賞

足田 真紀
 小林 幸雅

※特別表彰は、ゴールド受賞者の中で、一定条件に達すると認定されます。

小倉 拓也

小西 芙佳

ゴールド受賞
 シルバー受賞

中井佐玖真
 芦田 逸瑠
 柴田 空羽
 吉田 有花

河田 祥歩
 坪倉 夢輝
 渡邊 心翔

塩川 真緒
 細井 省吾

ちりめんパネル寄贈

～第2工期 現地設置作業～

本校建築科では、昨年度から継続して「ちりめんパネル」の製作に取り組んでいます。今年度は3年生を中心に26体を完成させ、2月22日(木)に丹後織物工業組合加工場へ納入・設置を行いました。

3年生の生徒たちにとっては初めての納入・設置でしたが、現場で互いに声を掛け合いながら生き活きとした姿で作業を進めていました。加工場の方々からも、労いの言葉や感謝の言葉をたくさん掛けていただきました。パネルを製作する過程では、初めて使用する工具に戸惑いながら作業することもありましたが、生徒同士で協力しながら主体的に動く姿が印象的でした。自分たちが作ったものが人の役に立つ喜びや、大きなプロジェクトを成し遂げた達成感を得られる良い取組になりました。



特別講師派遣事業

～建設業の現状と進路へ向けて～



2月14日(水) 特別講師派遣事業として、(株)ヨネダ 代表取締役 米田 洋一 様に来校していただき、生徒の進路へ向けた講話をしていただきました。

御自身の生き立ちから学ばれた知識や経験を基に、仕事に対する倫理観や建設業界の現状などをお話していただきました。特に建設現場での失敗談やお客様との信頼関係などの体験談を分かりやすく話していただきました。高校生にとっても、建設業に必要な資格や技能、仕事を選ぶためのポイントなど進路に向けた内容にも触れていただきました。建築関係の進路を考えている生徒にとっては、とても貴重な時間となりました。

今回の講演をもとに、進路実現へ向けて頑張ってもらいたいです。

※生徒氏名は敬称を省略しています。

【2年生】

左官実習 ～左官のプロから実技指導～

2月29日(木) 2年生が左官についての講義と土壁塗りの実技実習を行いました。講師に京都左官専修学院長 佐伯 護 様と「左官の伝道師」 佐藤 ひろゆき 様に指導していただきました。

午前には佐藤先生の左官についての講義を受け、土壁の魅力や左官の歴史についてお話していただきました。佐藤さんはまだ話足りない様子でしたが、授業では学べない左官を熱く語ってくれました。

午後からは土壁塗りを体験し、生徒たちは床にたくさん土を落としながらも壁に運んで塗り進めていました。楽しい雰囲気の中にも「綺麗に仕上げたい」という意欲から、終わりまで手を休めることなく何度もこてを動かして塗っていました。

土と触れ合う良い機会であり、環境に優しいエコ材料。魅力いっぱいの土壁、左官職人のプロの技に魅了され、実際に体験しないと分からない貴重な実習となりました。建築科の実習で魅力の1つです!!



【1年生】

3次元CAD講習 ～2次元の図が3次元の建物に～

12月21日(木)、22日(金)に株式会社 福井コンピュータアーキテクト様より2名の講師をお迎えし、3次元CADソフトの実技講習を行いました。

3次元CADソフトは、(株)福井コンピュータアーキテクト社オリジナルの建築専用CADソフトで、平面図(建物を上から見た図)を仕上げることで、自動で他の図面や建物を3次元に作成してくれます。3次元の立体で建物が見られることで、実際の敷地の写真と組み合わせて完成を予想することもできます。

生徒たちはボタンを1回押すだけで、柱や壁が自動で作成されたり、3次元の立体に建物が作られたりして、簡単に操作して建物ができることに驚き感動していました。

これからコンペなど自分で設計したものに活用してもらいたいです。



【1年生】

透視図実技指導 ～透視図の着色技術を学ぶ～

1年生は透視図の実技指導として透視図の着色技術を学びました。

講師に建築科の卒業生でもある 松山 義宗 様に来校していただき指導を行っていただきました。

透明水彩を使った着色は初めての生徒も多く、今まで使っていたものとの違いに戸惑いを見せている場面もありましたが、松山さんに丁寧な指導をしていただき、見事全員が完成させることができました。

透視図を用いることで、自分たちの作品をより相手にわかりやすく伝えることができるということを知る機会となりました。ここで学んだ技法を今後の作品製作に活かしていければと思います。



【1年生】

建築と福祉 ～聴覚言語の視点からの建築～

12月18日(月) (一社)京都府建築士会 村松 徹也 様と与謝郡聴覚言語障害センター 高見 典子 様に来校していただき、今年度も建築と福祉について講演していただきました。

実際に自分たちで声を発さずに口の動きだけで何を言っているか言いあてるということをしました。思っているよりも音から自分たちが言葉を認識しているということを改めて理解しました。また、声を発さずに言葉を伝える方法にはどのような方法があるかを考えました。さらに、障害の種類やバリアフリーの考え方などについて話をしていただきました。

いつも自分たちが当たり前と思っていることも、違う世界に行くと当たり前ではなくなる。世の中は多数派に合わせられているので少数派の人にとってはそれが不便に感じることもあるということを知り、すべての人が過ごしやすい建築物を考えるためのヒントを得ることができました。ここで話していただいたことを、今後の学習にも活かしていければと思います。

